

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	DM551/異文化コミュニケーション特論A (Topics in Intercultural Communication A)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	異文化コミュニケーション論および対人コミュニケーション論について		
担当者名 (Instructor)	灘光 洋子(NADAMITSU YOKO)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ICC3340	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

#### 授業の目標 (Course Objectives)

様々な人間関係におけるコミュニケーションの実践やその関係性の在り方を分析的に読み解くことで、自分たちの内部にある理解や解釈の枠組みへの気づきを促す。

To analyze communication in various human relationships. Through this process we will become more aware of our interpretive framework and factors involved.

#### 授業の内容 (Course Contents)

日常の対人コミュニケーションにおける様々な関係性について、異文化コミュニケーションの視点も取り入れながら考察する。事例や体験談を授業で学んだモデルや理論を用いて分析すると同時に、テーマごとに討議を行い考えを深める。

Students will deepen their understanding of communication phenomena between/among people in different relationships, using models and theories learned in class. Personal accounts and experiences will be analyzed and discussed in class.

#### 授業計画 (Course Schedule)

1. オリエンテーション
2. 対人コミュニケーションと異文化コミュニケーション
3. 隠蔽と自己開示
4. 自己呈示と演技
5. アイデンティティ(1)
6. アイデンティティ(2)
7. 偏見、差別、スティグマ
8. 友人とのコミュニケーション
9. 留学生とのコミュニケーション
10. 障がい者と健常者のコミュニケーション
11. 医療の場でのコミュニケーション
12. 家族のコミュニケーション
13. まとめ
14. 最終テスト

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

各回の予習範囲や課題は、授業内で別途指示する。

#### 成績評価方法・基準 (Evaluation)

最終テスト(Final Test)(40%)/授業への参加度・リアクションペーパー等(60%)  
状況に応じて、授業形態を変更する可能性がある。

#### テキスト (Textbooks)

毎回、関連文献を Blackboard に掲載する。

#### 参考文献 (Readings)

1. 長谷正人・奥村隆、2009、『コミュニケーションの社会学』、有斐閣アルマ (ISBN:978-4-641-12392-2)
  2. 池田理知子、2006、『現代コミュニケーション学』、有斐閣コンパクト (ISBN:4-641-17318-4)
- 参考文献を授業時に適宜紹介する。

#### その他(HP等) (Others(e.g.HP))

授業の内容や順番は履修者数や進捗状況に応じて変更する場合がある。履修者にはグループ討議や発表など、積極的な参加が求められる。また、「異文化コミュニケーション概論」を履修していることが望ましい。授業形態については、状況に応じて変更す

る可能性がある。

注意事項 (Notice)